

鎌ヶ谷市の下水道事業について

鎌ヶ谷市の下水道普及率は、平成22年4月1日付けで53.9%です。未だ下水道整備されていない約半数の住民にとっては要望の多い事業であり、都市基盤整備を進めていくには下水道事業は重要な施策の一つです。また、鎌ヶ谷市における最も古い下水道施設は設置後36年経過しており、人口減少、少子高齢化を向かえる本市にとっては今後も整備と同時に維持管理についても重要な課題であると考えます。

9月議会一般質問での質疑

Q 下水道事業における維持管理費の推移と今後の見通しについて

A 平成17年度末が約3億9,000万円、平成21年度末が約5億円となり、5年間で約1億1,000万円の増加。この主な要因は、終末処理場での汚水処理費用の増加であり、平成17年度末で約2億3,000万円、平成21年度末で約2億8,000万円と、約5,000万円の増加。また有収汚水量も、約440万立方メートルから約500万立方メートルに増加しており、さらに今後の維持管理費の見通しについても、普及率の増加とともに増額が見込まれる。

Q 長期的負担の平準化、または軽減など、維持管理のあり方の認識について。

A 1点目は、硫化水素の発生を防ぐため、適切な流速を保つこと、2点目は浸入水や漏水の防止に取り組むこと、3点目が下水道施設の延命化を図ること、以上の3項目について重点的に取り組むことで、施設の耐用年数を延ばすことが可能であると認識している。今後は国土交通省で進める長寿命化制度を利用して、所要の調査や事業手法などの検討に取組みたい。

Q 平成20年度に使用料の改定を行った際、住民の理解を得るための対策について

A 下水道料金には、流域下水道の処理費用を含め、下水道施設の位置に要する費用、徴収などに要する費用などの維持管理費のほか、下水道施設建設に要する工事費の市債の償還に充てられている。市では改定に当たり、下水道審議会で4年に1度、下水道会計などの過去の状況や将来予測などを報告して審議している。平成19年度の審議会では、平均12.8%の改定を妥当とする答申をもとに、平成19年12月議会で料金改定の条例改正を行い、平成20年度から料金の改定を行っている。市民へは、広報により料金改定の説明をするとともに、世帯ごとに書面にて料金改定のお願いとお知らせを行ってきた。

Q 近隣市の下水道料金について

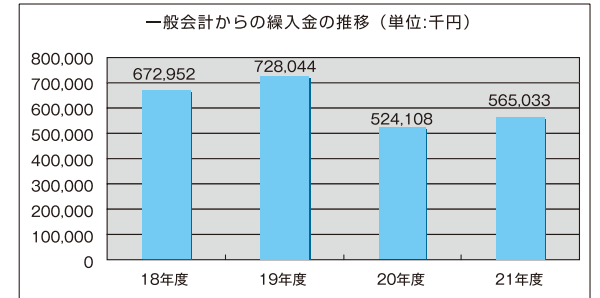
A

1ヶ月あたり10㎡の使用料(円)						
市名	鎌ヶ谷市	松戸市	市川市	柏市	白井市	船橋市
使用料	¥1,000	1,013	945	945	945	940

一般家庭1ヶ月あたりの平均的な使用量20㎡での使用料(円)						
市名	鎌ヶ谷市	松戸市	市川市	柏市	白井市	船橋市
使用料	2,575	2,357	2,447	2,079	2,100	1,885

Q 今後の下水道使用料の動向について

A 下水道使用料金は、下水道法第20条で、能率的な管理下における適正な原価を超えないものであることと規定されている。下水道施設の建設費の償還金である資本費に対して、下水道経営における財務省、国土交通省の方針として、資本費算入率として50%に近づける経営努力をすることとされており、平成21年度決算の資本費算入率は36%となっている。また、公債費については、資本費平準化債や繰上償還などにより、返済額が縮減するよう、経営努力をしている。建設工事に際しては、工事コストの縮減を図るよう努力しており、維持管理費についても、無駄の排除と施設の延命化に向けた日常の管理などに力を入れようと考えている。平成23年度には下水道審議会において、下水道会計の状況報告を行い、今後の運営方針など審議する予定だが、料金改定に至らない、つながらないよう、さらなる経営の健全化に努めたいと考えている。



まとめ

鎌ヶ谷市における未水洗化人口率は約9%、未水洗化戸数率は9.3%です。受益者負担金や使用料、工事費用の不満など、様々な要因が挙げられますが、未接続によって影響を受けるのは公共下水道事業の財政であります。特別会計の公共下水道事業は独立採算制が原則ではありながら、一般会計からの繰入を行い、不足分を補っているのが現状です。その額、21年度決算で約5億6000万円であり、この中には下水道整備がされていない住民の負担も含まれています。下水道事業を安定的かつ継続的に運営していくために必要な財源の確保が重要であり、建設費に充当される受益者負担金、維持費に充当される使用料など、わかりやすく情報を提供することが必要と考えています。



松沢たけひと プロフィール

- 昭和50年 鎌ヶ谷市東中沢で誕生
- 昭和57年 みちる幼稚園卒園
- 昭和62年 市立鎌ヶ谷中部小学校卒業
- 平成2年 市立鎌ヶ谷第四中学校卒業
- 平成5年 県立白井高等学校卒業
- 平成8年 アメリカメンフィス大学にて語学研修を受ける
- 平成9年 中央学院大学法学部法律学科卒業
- 平成18年 (株)人形工房 武人設立 代表取締役
- 節句人形師として、日本古来の伝統を守り続ける
- 平成19年 鎌ヶ谷市議会議員 初当選

私、松沢たけひとは35歳と会派市民クラブの中では最年少ですが、鎌ヶ谷市議会議員の一人として、市民の皆様信頼され、そして、期待に応えられるように行動してまいります。

お知らせ

ホームページをリニューアルしました。ブログも随時更新していますのでぜひ、ご覧ください。